

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2015-57427(P2015-57427A)

【公開日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-020

【出願番号】特願2014-241939(P2014-241939)

【国際特許分類】

C 0 7 C	69/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/16	(2006.01)
A 6 1 P	39/06	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
C 0 7 B	53/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	69/675	C S P
A 6 1 K	31/22	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/16	
A 6 1 P	39/06	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/08	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	3/06	
A 2 3 L	1/30	Z
C 0 7 B	53/00	G

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月28日(2015.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

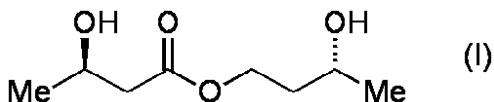
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

【化 1】



の(3R)-ヒドロキシ酪酸(3R)-ヒドロキシブチルについて鏡像異性的に濃縮された3-ヒドロキシ酪酸3-ヒドロキシブチルである化合物。

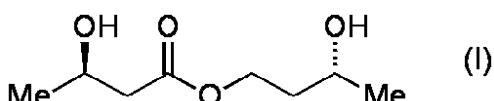
【請求項 2】

(3R)-ヒドロキシ酪酸(3R)-ヒドロキシブチルについて鏡像異性的に少なくとも90%に濃縮された、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

下記式(I)：

【化 2】



の(3R)-ヒドロキシ酪酸(3R)-ヒドロキシブチル。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、療法によるヒトの体の治療に使用するための組成物であって、前記ヒトの体は健康である、組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、療法によるヒトの体の治療に使用するための組成物であって、個体は18.5 ~ 24.9の肥満度指数を有する、組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、療法によるヒトの体の治療に使用するための組成物であって、個体は25 ~ 29.9の肥満度指数を有する、組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、療法によるヒトの体の治療に使用するための組成物であって、個体は30 ~ 39.9の肥満度指数を有する、組成物。

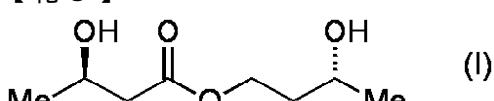
【請求項 8】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、療法によるヒトの体の治療に使用するための組成物であって、個体は40以上の肥満度指数を有する、組成物。

【請求項 9】

下記式(I)：

【化 3】



の(3R)-ヒドロキシ酪酸(3R)-ヒドロキシブチルについて鏡像異性的に濃縮された3-ヒドロキシ酪酸3-ヒドロキシブチルをトランスエステル化反応によって調製する方法であって、リバーゼ酵素の存在下、トランスエステル化反応をもたらす条件下で(3R)-ヒドロキシ酪酸エチルと(R)-1,3-ブタンジオールとを接触させる工程を含む方法。

【請求項 10】

リバーゼ酵素がカンジダ・アンタークティカ リバーゼBを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

水、糖炭水化物、及び請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、再水和用組

成物。

【請求項 1 2】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物と、インスリン増感剤、インスリン分泌促進剤、ビグアナイド系抗高血糖薬、及びそれらの組合せから選択される抗糖尿病薬とを含む、組合せ医薬。

【請求項 1 3】

成分が個別に糖尿病患者に投与される、請求項 1 2 に記載の組合せ医薬。